

ザ・ヒロサワ・シティ（茨城県筑西市）で
機体組立中！ ※格納庫窓越しに見学いただけます



「YS-11」量産初号機 公開プロジェクト

クラウドファンディング実施中！

国立科学博物館は、我が国唯一の純国産民間輸送機であるYS-11の量産初号機をザ・ヒロサワ・シティ（茨城県筑西市）に移設しました。

分解した機体の組立作業を開始しましたが、新型コロナウイルスの影響による臨時休館や入場者数制限のために、入館料収入が激減し、YS-11を組立てるための資金が不足しています。クラウドファンディングにより、皆様から資金を募っています。どうかご支援をよろしくお願いします！



クラウドファンディング
お申込みサイトはこちらから



※ A-port のウェブサイトにつながります
(現金書留による支援方法は、電話：03-6869-9001 でご案内します)



国立科学博物館
National Museum of Nature and Science

[お問い合わせ]

〒110-8718 東京都台東区上野公園7-20 独立行政法人 国立科学博物館
(科学系博物館イノベーションセンター内) YS-11クラウドファンディング担当
電話：03-3822-0111 e-mail: YS-11project@kahaku.go.jp

「YS-11」量産初号機とは？

国立科学博物館が保管する「YS-11」は、我が国航空機製造事業の期待を一身に受けた量産初号機です。機体登録番号JA8610は、YS-11全機中一番若い番号です。昭和40年3月に運輸省航空局に納入されたのち、飛行検査機として2万時間を超える飛行実績を有します。



1964年飛行検査機当時のYS-11

当機は、我が国唯一の純国産開発の民間輸送機で、国家支援のもと性能・経済性等世界的評価を得て世界で活躍したYS-11です。特に、現存するYS-11の中で試作機を除く最古の機体で、我が国の飛行安全確認の点検機として任務を全うした航空機です。



羽田空港内での点検中のYS-11

平成19年には「機械遺産」（日本機械学会）に、平成20年には「重要航空遺産」（日本航空協会）として認定されています。

平成11年8月に運輸省から当館へ移管されて以降、当機の良い保存に努めるため、羽田空港内の格納庫で保存を行ってきました。

「YS-11」量産初号機の保存と公開



YS-11量産初号機は、我が国戦後復興の象徴であり、将来に継承していくべき国民の貴重な財産です。我が国の貴重な産業技術資料としての価値を保てるように、風雨の影響等を避けての屋内保管や継続的な定期点検の実施など計画的な保存に努め、できる限り当時の状態に近い形となるように、移設で分解した機体を組立てています。この重要な機体を多くの方に見学いただけるように公開する予定です。

